

研究課題番号	5RF-1951
研究課題名	化学物質の内分泌かく乱作用を予測・検出する新たなスクリーニング法の開発
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	神戸大学
研究代表者名	堀江 好文

1. 委員の指摘及び提言概要

精巣分化を誘導する Gsdf 遺伝子と Cyp19a1a 遺伝子が、魚類の性分化に影響を与える内分泌かく乱作用を示す化学物質の検出に有用なバイオマーカーであることを明らかにし、短時間で実施可能な内分泌かく乱物質のスクリーニング法に活用できるメダカ2系統が創出できたことは評価できる。作出したメダカに固守することなく、並行して、農学系や医学系で用いられている培養細胞を使った研究手法も扱ってみてはどうだろうか。相互に思わぬ研究の発展が期待できるのではないかな。

環境政策に反映するためには、物質の濃度レベル（感度）などの課題について、スクリーニング手法の確実性を高める必要がある。

2. 採点結果

評価ランク：A